



小牛田小学校

# リーダー・イン・ミー通信

小牛田小学校のリーダー・イン・ミーの取組を紹介します！

5月12日 第1号

小牛田小学校ライトハウスチーム

<http://kogota-es.misato-ed/>

小牛田小学校は、令和3年度からリーダー・イン・ミーに取り組みます。この「リーダー・イン・ミー通信」で、「リーダー・イン・ミーとは何か」や学校での具体的な取組の様子をお伝えしていきたいと思います。どうぞ、ご期待下さい。

1989年にアメリカで1冊の本が刊行されました。成功を手に入れ、充実した人生を送るための方法を紹介した「7つの習慣」です。この本は、ベストセラーとなりました。1996年には、日本語版も登場しました。今では、44カ国語に翻訳され、延べ4000万部もの大ヒットとなりました。ここで言う「成功を手に入れ、充実した人生」とは、お金持ちになるとか、出世するとか、ライバルに勝つというような表面的なことではありません。人生において大切なものは、人それぞれ、それを見極めて、手に入れ心の底から充実感を得る。7つの習慣では、それを「成功」と捉えています。

著者のコヴィー氏は、「本当の成功を手に入れる為には、人格をみがかなくてはいけない。そして、私たちの人格は、習慣によってつくられる」と述べています。本当の「成功」を手に入れる為の習慣、それが「7つの習慣」です。

## リーダー・イン・ミーって何？

「Leader in me」を日本語に訳せば、「私のリーダー」となります。では、「私のリーダー」とは、誰でしょう？ 親？ 学校の先生？ 力の強い友だち？ 頭のいい友だち？ 仲よしの友だち？ 違います。

「私のリーダー」は、自分自身です。自分をよりよく導くのは、自分です。

リーダー・イン・ミーは、「成功を手に入れ、充実した人生」を送るための方法である「7つの習慣」の子供版です。リーダー・イン・ミーは、全世界で2000校以上の学校に取り入れられています。日本では、30校ほどの学校に取り入れられています。

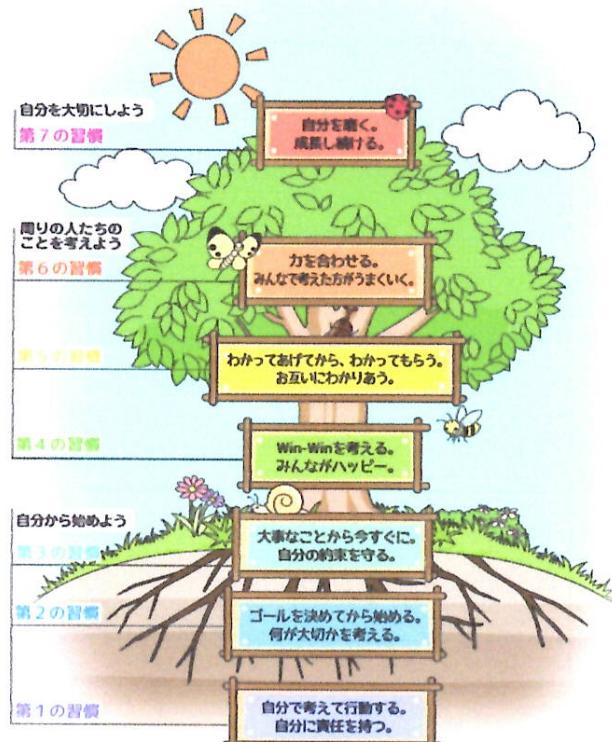
小牛田小学校では、総合的な学習の時間を中心により多くの授業を行います。また、学校生活の様々な場面を利用して、日常的に7つの習慣について学習する機会を設けて行く予定です。

学びの様子は、この「リーダー・イン・ミー通信」や本校のブログ、学校だよりなどでお知らせします。どうぞ、ご期待下さい。

## なぜ、小牛田小でリーダー・イン・ミーなの？

小松は、仙台市の若林区の沖野東小学校に教頭で勤務していたとき、震災が起きました。海に近い学校でしたので、様々な団体から支援の申し出を受けました。その中の一つがフランクリン・コヴィー・エデュケーション・ジャパンでした。ベストセラーだった「7つの習慣」は読んだことがありました。でも、震災の直後の混乱の中で、学校をあげて取り組むことは困難だと判断し、お断りしました。

この度、フランクリン・コヴィー・エデュケーション・ジャパンが、支援の手を都市部から地方に広げようと考えたそうです。そして、記録に残っていた沖野東小学校に連絡を入れてくれたそうです。校長でも仙台市に勤務していたので沖野東小学校の校長先生とも知り合いでした。「小松校長なら、古川の方に転勤したよ。」ということで、私に連絡が入りました。願ってもない申し出だったので、美里町教育委員会の了解を取って支援を受けることになったというわけです。今後3年間、支援を続けていただきます。



# リーダー・イン・ミー こぼれ話

## 4月23日 小牛田小学校に「クリーンリーダー」現る！

4月23日(金)は、気持ちのよい天気でした。業間時間、校長室の窓から外を眺めていると、何人かの先生が校庭に出て、子供たちと一緒に遊んでいます。

「学校らしいすてきな風景だなあ。」

先生たちと子供たちの鬼ごっここの様子を眺めていると風に飛ばされる買い物袋が目に入りました。風に吹かれて、校地西側から東側の田んぼの方に飛ばされていきます。

「もうすぐ水田も始まるし、拾いに行かなくちゃ。」

そう思って、職員室前で靴を履き替えました。不思議なことに靴を履いて目を上げるとどこにも買い物袋が見当たりません。吹き飛ばされたのかと思って、校地東側の防風ネットの方を注意深く見てみました。でも、買い物袋は見当たりません。

「おかしいなあ。もう田んぼの方まで飛ばされたのかな。」

校庭に降りてみました。防風ネットの方には、やっぱり見当たりません。諦めて戻ろうとした瞬間、全てを理解しました。私の目に入ったのは、買い物袋を持ったまま先生と鬼ごっこをしている6年生のSNさんの姿でした。6年生のSNさんが、紙袋を拾ってくれていたのでした。

あまりにもうれしくて、カメラを持ちだして、SNさんを撮りました。彼女は、カメラを向けている私に気づいてピースサインを送ってくれました。きっとSNさんは、なぜ写真を撮られたのか分からなかったと思います。その写真を見せながら、担任の伊藤先生にこの話を聞かせました。担任の伊藤先生は、うれしそうに教えてくれました。

「SNさんは、クラスでもそうなんです。いつもお掃除をしっかりやっているんです。お掃除リーダーなんです。」

マイクロプラスチックなどの環境問題がよく報道されていますが、目の前にゴミが落ちてもなかなか捨つことができないのが、現実です。

「自分が捨てたゴミじゃないから。」「汚いから。触りたくない。」「誰かが捨うだろう。」

捨わない理由は、いろいろあると思いますが、SNさんは、私が目を離したほんの一瞬で、捨つことを決断し、捨つという行動に移しました。あとでSNさんになぜ捨つたのかを聞いてみました。

「捨わなきやつて思ったし、ゴミが落ちていたら気持ち悪いからです。」

と答えてくれました。SNさんには、迷いはなかったようです。

日頃から掃除に丁寧に取り組んでいるSNさんは、「きれいな環境を保ちたい」という気持ちを持って、その気持ちにしたがって自分の行動を選択しました。SNさんの内には、「クリーンリーダー」が、育ってきているようです。 (小松英明)

